

# 令和6年度 学校経営方針（学校運営協議会後修正版）

津市立南が丘小学校

津市教育振興ビジョン基本構想

「持続可能な社会の創り手となる自立した人づくり」

社会の在り方が大きく変わる中、新たな日常に向けた社会変革の推進力となる人材や、地球規模の課題を自分事として捉え、何ができるかを主体的に考える力を持つ人材の育成をめざします。

南が丘中学校の教育目標  
自立・尊重・創造

南が丘小学校の教育目標

未来を切り拓く、たくましい子どもの育成  
未(未)来にむかって、(未)かまとともに、(未)んなど、(未)んばり、(未)もいやりを持ち、(未)しく生きる子



保護者・地域の願い

（南が丘学校支援委員会からの提言）

- 健康で安心な学校生活の中で社会性の育成
- 確かな基礎学力と充実した学習
- 学校運営の改善と教育環境の整備
- 保護者・地域の要望を受け止め、連携協力した子どもの育成

## 8つの重点取組と具体的な行動計画

### 1 地域とともにある学校

- 学校教育活動の様子の積極的な発信
- 公開デー等を活用した学校教育活動への理解・参画
- 地域リソース（人、自然、文化、産業等）の活用
- 学校運営協議会、学校支援委員会、PTA、関係諸団体等との協働

### 2 小中一貫教育、保幼小の連携

- 6つの推進部会による小中一貫教育の推進
- 協働による行事及び取組の実施
- 研修目標の共有と授業参観における交流
- 架け橋プログラムの作成と実施

### 3 確かな学力と楽しい英語教育

- わからないことやまちがいを大切にしている授業づくり
- 聞き合い、伝えあう活動を通し、学ぶ楽しさを実感できる授業づくり
- 毎時の授業において、めあてを意識し、見通しを持たせることができる授業づくり
- 学力調査結果等の検証と、課題改善に向けた取組
- 教科指導等におけるタブレット端末による効果的な学習の充実及び家庭学習との連携
- 9年間を見通した各発達段階（低・中・高）のカリキュラムにもとづき、児童の興味関心を高める英語教育の推進

### 4 人権教育

- 誰もが安心でき、居心地のよい学級づくり
- 子どもの人権課題をふまえた集団（学級・学年・学校）づくり
- 子どもの生活課題の把握と多面的・総合的な児童理解

### めざす子ども像

《自分で考え、判断し、行動する子》

- 知・自ら進んで学び、聞き合い、自分の考えを表現できる子
- 徳・自分を大切にするとともに、誰に対しても思いやりのある言動ができる子  
・気持ちをこめて、進んであいさつができる子
- 体・めあてを持って、健康な体づくりができる子

### めざす学校像

- 毎日が楽しい学校
- 保護者に信頼される学校
- 地域とともにある学校
- 小中が一体となった学校

### めざす教師像

- ともに学び合い、互いに磨き合い、よりよい授業を創る教師
- 目標に向かって創意工夫し、協働する教師
- 子どもの心に寄り添い、支え合う学級集団づくりをする教師

### 5 特別支援教育

- 子どもの生活課題の把握と多面的・総合的な児童理解
- すべての子どもが「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」が実感できる教育の創造
- 保護者や専門機関等との連携

### 6 生徒指導

- 子どもの生活課題の把握と多面的・総合的な児童理解
- 主体的にきまりやルールを守る規範意識の向上
- あいさつの励行、トイレのスリッパをそろえる習慣、清掃指導の徹底
- 中学校や家庭・地域等との連携

### 7 健康安全教育（安全・食・保健）

- 子どもが自分で身の安全を確保できる安全教育（安パト、自主防等との連携）
- 運動や食生活について、めあてを持ち、自分の健康を考える取組

### 8 教職員の資質・チーム力向上、総勤務時間の縮減

- 指導力の向上、若手を対象にした研修の充実（ブチ研修会、授業動画、ちょこっと参観、お気軽参観、教員文庫等の積極的な活用）
- 校務分掌の見直しによる働きやすさと健康管理
- 勤務時間縮減活動指標
  - 時間外労働時間上限の順守（月45h、年360h）
  - 時間外労働時間 各自昨年度実績10%減
  - 休暇取得日数 各自昨年度実績3日以上増
  - NO会議デー及び定時退校デー 月1日以上
  - 60分以内に終了する会議の割合 80%
- 教職員の多様な働き方を尊重する環境づくり

学校評価の要素 : 児童アンケート、南が丘学校支援委員会アンケート、学力学習状況調査等

評価に係わる組織 : 南が丘小学校学校運営協議会（意見）、南が丘学校支援委員会（提言）